

江 監 第 8 号
平成25年3月29日

江 田 島 市 長 様
江 田 島 市 議 会 議 長 様
江田島市教育委員会教育委員長 様

江田島市監査委員 金 村 謙 三

江田島市監査委員 林 久 光

財政援助団体等に対する監査の結果について（報告）

地方自治法第199条第7項の規定による財政援助団体等に対する監査を実施したので、同法同条第9項、第10項及び江田島市監査委員条例第10条の規定に基づき、その結果及び意見を報告します。

目 次

	ページ
第1 監査の期間	1
第2 監査の対象	1
第3 監査の方法	1
第4 監査の結果	1
1 社会福祉法人 江田島市社会福祉協議会	2
2 江田島eスポーツクラブ	4
3 公益社団法人 江田島市シルバー人材センター	6
4 江田島市商工会	8
第5 終わりに	10

第1 監査の期間

平成25年3月12日(火)～平成25年3月29日(金)

第2 監査の対象

補助金等に関する事務の執行状況、経営に係る事業の管理状況

第3 監査の方法

財政援助団体のうち、平成24年度に500万円以上の補助金の交付を受けた団体及び新規設立から5年以内の交付団体の4団体を抽出して実施した。

補助に係る会計経理内容は適正であるか、また補助事業は補助の目的に沿って適正に執行されているかに主眼をおいた。

なお、上記団体については事前に必要な書類の提出を求めて、書類を基に調査し、平成25年3月12日に現地調査を実施した。

第4 監査の結果

財政援助団体の決算書、事業報告書及び必要書類を監査した結果、関係法令に準拠して適正に作成されており、その計数は関係諸帳簿と符合し、営業成績及び財政状況を適正に表示されているものと認めた。

概要と監査意見(まとめ)は、各団体とも末尾のとおりである。

1 社会福祉法人 江田島市社会福祉協議会

所在地 江田島市能美町鹿川2060番地

設立 平成16年11月1日

役員 会長 大津克彦
副会長 1名
理事 9名(会長, 副会長を除く)
監事 2名

職員数 正規職員 34名
準職員 54名
嘱託職員 10名 (平成25年3月12日現在)

事業 1. 社会福祉を目的とする事業の企画及び実施
2. 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助
3. 社会福祉を目的とする事業に関する調査, 普及, 宣伝, 連絡, 調整及び助成
4. 1から3のほか, 社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業
5. 保健医療, 教育その他社会福祉と関連する事業との連絡
6. 共同募金事業への協力
7~22 略

沿革 社会福祉法人江田島市社会福祉協議会の設立前は, 旧四町で社会福祉協議会が存立していたが, 新市誕生と同時に合併して設立されたものである。

江田島市から交付された平成23・24年度の補助金額は下記のとおりである。

平成23年度補助金額 32, 140, 000円

平成24年度補助金額 32, 140, 000円

1. 事業計画書，予算書並びに決算書は江田島市へ提出された補助金等の交付申請書，実績報告書の数値と相違ないと認めた。
2. 補助金等交付申請書の提出時期及び請求金額，受領金額は適正に処理されている。
3. 補助金等対象事業の収支状況は，決算書に詳細に記載され適当と認める。
4. 期首及び期末における預金の残高は，預金通帳に記載された金額と相違ないことを確認した。
5. 定款・諸規程等はすべて整備されている。

まとめ

少子高齢化，人口減少，単体世帯の増加等により，年々福祉にかかわる課題も多様化してきている。このような状況の中で，高齢者から青少年まで地域福祉活動は益々重要となり，江田島市社会福祉協議会はその中核を担っている。パンフレットには『どこに相談するか迷う時はまずは社協に』と謳っており，事業内容や経費内容を見ていく中で生活に密着した地域福祉の推進にずいぶん努めていることを認めた。また，就業規則を改定し，準職員の処遇改善に努めており，全職員一致で地域福祉に取り組む姿勢が窺えた。

財政面に於いては年々増すごとに厳しい状況となることが予想されるが，さらに，経営基盤の充実と強化を図り，役職員一丸となって充実した支援活動をされることを期待する。

2 江田島eスポーツクラブ

所在地 江田島市能美町中町3699番地2（江田島市スポーツセンター内）

設立 平成22年2月26日

役員 理事長 小 道 広 海
副理事長 2名
理 事 9名
監 事 2名

事務局 アシスタントマネージャー 2名

会員数 265名（一般212名，小中学生53名） 平成24年3月31日現在

事業

1. 定期的な日常スポーツ活動の推進
2. 会員及び地域住民の体力・健康づくり推進に関する事業
3. 会員及び地域住民相互の交流を図るための各種行事の開催
4. 各種スポーツ教室の企画運営及びスポーツ大会並びにイベントに関する事業
5. 会員相互の親睦を深めるための行事開催
6. その他，本クラブの目的を達成するために必要な事業

沿革 文部科学省のスポーツ振興基本計画により「全国各市町村に少なくとも1つの総合型地域スポーツクラブをおく」と策定されたことを受け，本市では，平成22年度に設立された。

江田島市から交付された平成23・24年度の補助金額は下記のとおりである。

平成23年度補助金額 707,000円

平成24年度補助金額 816,000円（概算払）

1. 事業計画書，予算書並びに決算書は江田島市へ提出された補助金等の交付申請書，実績報告書の数値と相違ないと認めた。
2. 補助金等交付申請書の提出時期及び請求金額，受領金額は適正に処理されている。
3. 補助金等対象事業の収支状況は，決算書に詳細に記載され適当と認める。
4. 期首及び期末における預金の残高は，預金通帳に記載された金額と相違ないことを確認した。
5. 規約，諸規程等はよく整備されている。

まとめ

平成22年に設立して，実質的な事業開始は，平成23年度からである。総合型地域スポーツクラブは，主に市補助金，会員の年会費，自動販売機での売上金，日本体育協会からの助成金（toto収益金の一部）から成り立っている。なお，開設5年経過すると日本体育協会からの助成金が終了する。その後は，全面的な市補助金に依存するのではなく，自助努力により本事業の計画的及び建設的な経営を期待する。

新規事業は，経営や活動等が安定するまでは困難であるが，今後も，市民がいつでも，どこでも，いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツの社会を実現させるためにも，役職員一丸となって事業活動されることを望む。

3 公益社団法人 江田島市シルバー人材センター

所在地 本 所 江田島市江田島町中央一丁目15番15号
大柿支所 江田島市大柿町大原1118番地2

設 立 平成17年4月1日

役 員 理事長 田 口 宜 久
副理事長 1名
常務理事 1名
理 事 11名 (理事長, 副理事長, 常務理事を除く)
監 事 2名

会員数 227名 平成24年3月31日現在

事 業

1. 臨時的かつ短期的な就業（雇用によるものを除く。）又はその他の軽易な業務に係る就業（雇用によるものを除く。）を希望する高齢者のために、これらの就業機会を確保し、及び組織的に提供すること
2. 臨時的かつ短期的な雇用による就業又はその他の軽易な業務に係る就業（雇用によるものに限る。）を希望する高齢者のために、無料の職業紹介事業又は一般労働者派遣事業を行うこと
3. 高齢者に対し、臨時的かつ短期的な就業及びその他の軽易な業務に係る就業に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習を行うこと
4. 高齢者に対し、臨時的かつ短期的な就業及びその他の軽易な業務に係る就業を通じて、高齢者の生きがいの充実及び社会参加の推進を図るために必要な事業を行うこと
5. 前4号に掲げるもののほか、高齢者の多様な就業機会の確保及び地域社会、企業等における高齢者の能力の活用を図るために必要な事業を行うこと
6. その他目的を達成するために必要な事業を行うこと

沿 革 平成4年10月20日設立の江田島町シルバー人材センターが江田島市となったため旧大柿町高齢者事業団と合併し、平成17年4月1日付けを以って社団法人江田島市シルバー人材センターとして発足した。また、平成23年4月1日付で「社団法人」から「公益社団法人」へ移行している。

江田島市から交付された平成23・24年度の補助金額は下記のとおりである。

平成23年度補助金額 8,000,000円

平成24年度補助金額 8,000,000円

1. 事業計画書，予算書並びに決算書は江田島市へ提出された補助金等の交付申請書，実績報告書の数値と相違ないと認めた。
2. 補助金等交付申請書の提出時期及び請求金額，受領金額は適正に処理されている。
3. 補助金等対象事業の収支状況は，決算書に詳細に記載され適当と認める。
4. 期首及び期末における現預金の残高は，現金出納簿及び預金通帳に記載された金額と相違ないことを確認した。
5. 定款・規約・諸規程等はすべて整備されている。

まとめ

団塊世代が60代到達を迎えた今，高齢化がさらに加速している。定年退職後の就職は望まないが，自らが長年培った知識・経験・技能をいかして行く居場所の提供と，自発的な働く意欲と希望によりその能力を発揮できる就業の機会を組織的に提供していることが窺えた。今後も活力ある地域社会づくりに少しでも寄与できるよう願う。また，作業による事故等には十分留意し，尽力されることを望む。

4 江田島市商工会

所在地 本 所 江田島市江田島町小用二丁目17番1号
能美支所 江田島市能美町中町4940番地
沖美支所 江田島市沖美町三吉2776番地
大柿支所 江田島市大柿町大原1118番地2

設 立 平成20年4月1日

役 員 会 長 大勢登 正
副 会 長 2名
理 事 30名
監 事 2名

会員数 790名 平成24年3月31日現在
内訳 江田島町 279名 能美町 162名
沖美町 117名 大柿町 232名

事 業 1. 商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと
2. 商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること
3. 商工業に関する調査研究を行うこと
4. 商工業に関する講習会又は講演会を開催すること
5. 展示会、共進会等を開催し、又はこれらの開催のあつせんを行うこと
6. 商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること
7～12 略

沿 革 旧四町の商工会が新市誕生により、平成20年4月1日付けで江田島市商工会として合併した。

江田島市から交付された平成23・24年度の補助金額は下記のとおりである。

平成23年度補助金額 8,380,000円

平成24年度補助金額 8,380,000円

1. 事業計画書，予算書並びに決算書は江田島市へ提出された補助金等の交付申請書，実績報告書の数値と相違ないと認めた。
2. 補助金等交付申請書の提出時期及び請求金額，受領金額は適正に処理されている。
3. 補助金等対象事業の収支状況は，決算書に詳細に記載され適当と認める。
4. 期首及び期末における預金の残高は，預金通帳に記載された金額と相違ないことを確認した。
5. 定款・諸規程等はすべて整備されている。

まとめ

人口減少に伴い，商工会加入数も減少傾向である。店主の高齢化や受継ぐ次世代の不足，さらに市外へ出向く購入者等によって，古くから続いている事業所や店舗等の存続が困難となり，廃業が増加している。そのため商工業者は減少している現状で苦悩が窺われた。

高齢化・過疎化が進む地域においては商工会が地域経済を担う基幹団体の重要な一つとして，地域に貢献することが必須である。今後もさらに関係団体と密な連携により，地域経済の発展に寄与されることを深く願う。

終わりに

このたびの監査にあたり、誠意をもって対応していただいた関係者の皆様に対して深甚なる敬意を表します。

また、各団体を管轄する関係部局の担当者の前向きな対応に感謝いたします。